令和６年度第１回大阪府地域職域連携推進協議会　議事概要

■日時：令和７年３月 28 日（金）16 時～17 時
■場所：大阪赤十字会館　302 会議室

＜議題＞第４次大阪府健康増進計画の令和６年度の進捗状況について
「第４次大阪府健康増進計画」の令和６年度の進捗状況について説明

【意見概要】
- 健康寿命の格差について、大阪市が低く、底上げを図っていく必要がある。住民自身が頑張らなくてはいけないという意識につながるような取組みを期待している。
- 大阪府は単身世帯の高齢者が非常に多い。治療中断者に対して、行政はどのような取組みを行っているのか。
- 20～30 歳代（特に女性）の運動習慣のある者の割合が低い傾向にある中、若い女性を対象にした取組みを進めていく予定はあるのか。

【事務局回答】
- 大阪市と連携するとともに、市町村ごとの健康情報等にも注視しながら施策を進めていく。
- 治療中断者など、受診勧奨の対象者の抽出方法等について、国保連合会と連携し、助言及び支援を実施。職域に対しては、糖尿病発症予防・重症化予防を促進するための啓発動画を３本作成し、啓発を実施。
- 今年度は女性に特化したリーフレットを作成。今後は民間の力も借りながら啓発を実施していく予定。

＜報告＞保健所圏域等における地域・職域連携推進事業について
- 保健所圏域等における地域・職域連携推進事業について報告

【意見概要】
- 地域健康カルテについて、好事例についても見える化が図れると、各圏域のモチベーションが高まるのではないか。
- NDB について　居住地と職場の住所が違う人については、どちらの住所で算出しているか。
- 大阪市は、高血圧該当者がさほど多くないという示し方になっているが、実態と合っているか。
- 収入と人工透析移行率に相関関係が見られたという研究結果が出ている（日本人を対象）。慢性疾患の管理を行うには、地域ごとに重みづけをしたアプローチが効率

的。部局や市町村間を超えた連携が重要。

【事務局回答】

- 府が主催の連絡会で好事例や各圏域の取組状況を共有している。
- NDB の分析は、居住地のデータを使用。
- 使用しているデータは特定健診受診者の健診結果であり、健診を受けていない住民は含まれていない。
- 今後も、保健所圏域や市町村が活動しやすくなるように取組みを進めたい。